

校内における服務研修のポイント ～年間計画モデル～

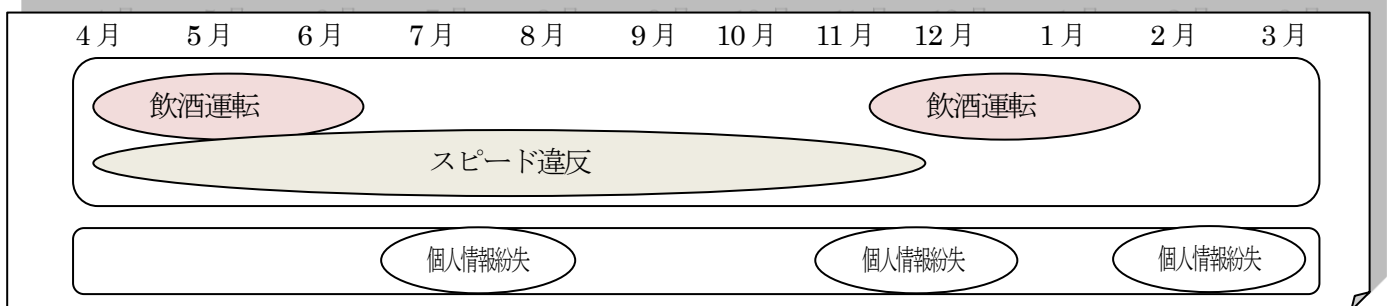
1 年間計画モデル ～全ての学校が4月から良いスタートをきるために、服務に関する校内研修は2月スタート！～

◇各学校の実態に応じ、下記の事例A～Cを参考に計画的な研修をしていきましょう。

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
職員会議 校内倫理 委員会①	職員 会議	職員 会議	職員 会議	職員 会議	職員 会議	職員会議 校内倫理 委員会②	職員 会議	職員 会議	職員 会議	職員会議 校内倫理 委員会③	職員 会議

<p>A 校内倫理委員会等 60分 時期：2月 8月 12月 等 内容： ① これまでの不祥事防止の取組みをふりかえる。 ② 次の校内倫理委員会までに、取組みを確認する。</p>	<p>B 定例職員会議等 15～30分 時期：通知等が発出された時や、新聞等で不祥事の報道等 内容：① チェックシートで自己をふりかえる ② 校長講話 ③ 講話を聞いて各自今後の行動について考える</p>	<p>C 教職員面談等での校長指導 5～15分 時期：必要に応じて 内容：チェックシートでの自己課題に対する助言や、各自で立てた今後の行動への助言等</p>
--	---	---

2 時期ごとに起こりやすい不祥事例



【時期に関わらず起こりうる不祥事例】

わいせつ・セクハラ	パワハラ	体罰	公金不正取扱	薬物使用
-----------	------	----	--------	------

⇒未然防止の観点から、「年度当初の4月には各種ルールや基準を確認」しましょう。

例) 児童生徒等との SNS 使用、ICT 機器利活用、酒席の自家用車使用、生徒指導対応、会計・公金取扱い 等

3 不祥事の発生時期等の傾向 (過去事案の統計による)

飲酒運転は、年度当初や年末年始の懇親会等の時期が多く、男性に多い傾向が見られます。	スピード違反は、春から秋(特に4～5月、8～10月が多い)にかけて、性別・年代問わず多く見られます。	体罰は、授業中や部活動の指導中など、時期や性別、年代問わず多く見られます。	個人情報紛失は、年度替わりや通知表配布前の時期等が多く、女性や若い男性に多い傾向が見られます。
わいせつ・セクハラは、时期的な傾りはなく、50代に多い傾向が見られますが、若い職員による逮捕事案も発生しています。	横領等は、長期間に及ぶケースが多く見られます。	薬物使用は、ネット等で容易に入手可能のため増加が懸念されます。	

⇒ いずれの不祥事も、一旦発生すると職員全体の働く意欲や自信を減退させ、勤務環境や職務遂行に様々な悪影響を及ぼすことから、しっかりと計画を立てて研修を実施していく必要があります。